

(様式2)

令和5年5月11日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	
	第4の(2) (グループの新たな取組)	○

1 地域取組主体の概要

名称	伊勢原女性農業者連絡協議会	
所在地	神奈川県伊勢原市小稲葉6401-1	
代表者	柏木 菊江	
主な組織の事業内容(注)	<ul style="list-style-type: none">・農家に伝わる技術を学び、その良さを再認識するための研修会の開催・消費者交流、食農教育活動の実施・会報の発行、記念誌の発行・関係機関行事への協力	女性農業者の人数：25人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制

自立的な組織として、役員会や総会により運営されている。活動にあたっては、伊勢原市や農協、神奈川県農業技術センターと連携し、積極的な情報発信を行い、女性就農環境改善に向けて、市全体、グループ単位で役割分担しながら、農業経営に意欲のある女性農業者への加入・参画を呼びかけている

【伊勢原女性農業者連絡協議会】

役員4名：会長、副会長・書記、会計、会計監査

以下、5地区のグループおよび個人(4名)合計25名で構成。

【冊子編集委員会】

伊勢原市の農家・農村に伝わる行事や行事食について情報収集し、冊子編集を行う。

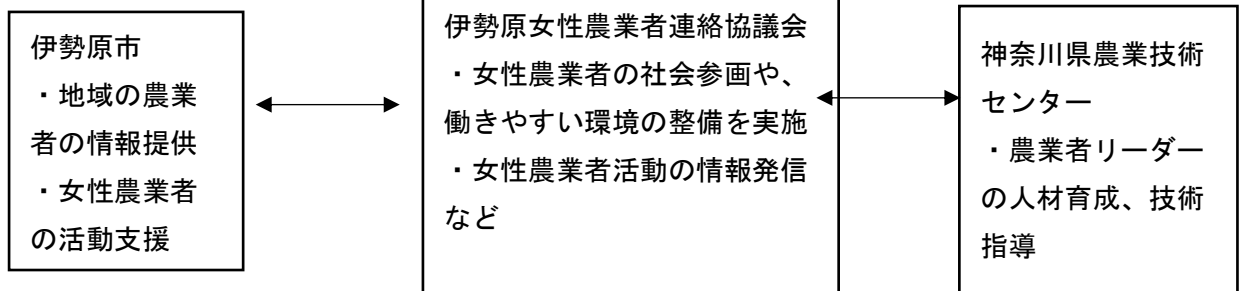
【食農・体験イベント企画委員会】

伊勢原市の農業、農村文化、生活技術や食文化を市民(特に若い世代)に伝え、知って

もらうためのイベントの計画や、円滑な実行に向けて調整する。

【サポート】

伊勢原市（農業者活動支援担当、新規就農担当）、神奈川県農業技術センター普及指導部（女性農業者活動支援担当、担い手育成担当、6次産業化担当）



（注）実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画

（1）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

神奈川県西部の伊勢原市域では、農家数の減少と高齢化、それらに伴う耕作放棄地の増加が顕在化し、農家・農村地域に受けて継がれてきた伝統行事や食の伝承も失われつつある。また、社会、家族関係、ライフスタイル等の変化により、女性農業者同士が接する機会も減っている。そのため、地域の生活文化や伝統食等を記録（冊子・テキスト）として残し、その成果を発表する交流イベントを通じて、技術や知識の伝承を図るとともに、新たな担い手となる女性の団体活動への加入を勧め、女性農業者リーダーの育成に取り組む必要がある。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

地域では、女性の新規就農者が少なく、結婚就農した場合でも、女性農業者同士が情報交換を行ったり、研修する機会は少ない。若手の女性農業者達は個人活動が多いことから、年配の女性農業者達のようにグループ活動を通して仲間づくりや勉強を行うということが難しくなっており、地域の女性委員等の選定対象にもなりにくい。

（注）（2）、（3）の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分		①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者の人数 (注2)	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事する者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画

取組区分		①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
⑥その他	R5年8月～ R6年1月	地域伝統食冊子の編纂・発行	1	25	172.7	172.7	100部
③会員募集・農業体験の受入等 にかかる取組	R6年2月	伊勢原の伝統行事と食を味わうイベント	1	50	21.6	21.6	
計			2	75	194.3	194.3	

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開
⑥冊子	グループ員の経験や知恵を結集し、失われつつある地域の伝統行事や食、農家・農村生活に伝わる文化や技術を冊子にまとめることで、会員同士の連携が深まり、グループ活動の活性化に繋がる。また、完成した冊子はグループが取り組む食農教育のテキストとなり、活動がしやすくなる。
③イベント	地域の行事と食をまとめた冊子を披露する交流イベント（伊勢原の伝統行事と食を味わう）を開催することで、グループ員の持つ技術や知識の普及が進むとともに、活動に賛同する女性農業者のグループへの加入につながる。

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
通年	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組】</p> <p>研修会・視察の実施、消費者交流や食農教育への参加、会報や記念冊子の編纂、組織拡大のため女性への働きかけ等により助成農業者が働きやすく、暮らしやすい環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>「地域の伝統食を記録に残して、次世代を担う若者に引き継ぐための事業」に取り組む</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <p>失われつつある地域の伝統行事に根ざした食や農家・農村生活に伝わる文化、技術を記録に残し（冊子の編纂）、その成果を発表する交流イベント（伊勢原の伝統行事と食を味わう）の開催を通じて、技術や知識の伝承を図るとともに、新たな担い手となる女性の団体活動への加入を勧め、女性農業</p>	<p>【目標】</p> <p>「冊子の編纂」</p> <p>「(仮)伊勢原の伝統行事と食を味わう会」を開催</p>

R5年 7～12月	者リーダーの育成に取り組む。 ・冊子の編集	
R6年1月	・冊子の完成	
R6年2月	・女性農業者の呼び込みに向けたイベントの開催 ・情報交換および活動への勧誘	

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	10人
	事業実施翌年度	10人
	合計	20人
(女性農業者の新規確保人数の内訳)		
自営農業就業者 20人、雇用就農者 人、 アルバイト等 人		

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 (第4の(1)「施設等確保の取組」のみ記載)
【事業実施年度】 (取組予定業務) (採用時期) (人数)
【事業実施翌年度】 (取組予定業務) (採用時期) (人数)

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。